

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 5 月 7 日(2024.5.7)

【公開番号】特開 2023-65260(P2023-65260A)
【公開日】令和 5 年 5 月 12 日(2023.5.12)
【年通号数】公開公報(特許)2023-087
【出願番号】特願 2021-175969(P2021-175969)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 1 1 A

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 4 月 24 日(2024.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球が流下可能な流下領域が形成された遊技盤を備えた遊技機において、
球通路の少なくとも一部を構成するとともに、前後方向に延びる壁部により形成された
特定の内部空間を有する通路構成ユニットを備え、
前記特定の内部空間内には、電氣的に接続された所定の遊技部品を位置させることが可
能であり、

前記通路構成ユニットは、透過性を有し、

前記壁部への前方からの視線に対して前記特定の内部空間内の視認性を低下させる目
隠し手段をさらに備え、

30

前記目隠し手段は、少なくとも前記壁部における前記特定の内部空間側の内壁面の一部
を凹凸形状あるいは乱反射形状に形成して、前記特定の内部空間内の視認性を低下させう
るものであり、

さらに、前記特定の内部空間は、遊技球が進入できない空間であり、

さらに、前記特定の内部空間の前方には所定のシール体が貼着される
ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技球が流下可能な流下領域が形成された遊技盤を備えた遊技機において、

球通路の少なくとも一部を構成するとともに、前後方向に延びる壁部により形成された
特定の内部空間を有する通路構成ユニットを備え、

40

前記特定の内部空間内には、電氣的に接続された所定の遊技部品を位置させることが可
能であり、

前記通路構成ユニットは、透過性を有し、

前記壁部への前方からの視線に対して前記特定の内部空間内の視認性を低下させる目
隠し手段をさらに備え、

前記目隠し手段は、特定部材を前記壁部における外壁面の少なくとも一部に接するよう
に配置させることによって、前記特定の内部空間内の視認性を低下させるものであり、

さらに、前記特定の内部空間は、遊技球が進入できない空間であり、

さらに、前記特定の内部空間の前方には所定のシール体が貼着される

50

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、

遊技球が流下可能な流下領域が形成された遊技盤を備えた遊技機において、
球通路の少なくとも一部を構成するとともに、前後方向に延びる壁部により形成された
特定の内部空間を有する通路構成ユニットを備え、

前記特定の内部空間内には、電氣的に接続された所定の遊技部品を位置させることが可
能であり、

前記通路構成ユニットは、透過性を有し、

前記壁部への前方からの視線に対して前記特定の内部空間内の視認性を低下させうる目
隠し手段をさらに備え、

前記目隠し手段は、少なくとも前記壁部における前記特定の内部空間側の内壁面の一部
を凹凸形状あるいは乱反射形状に形成して、前記特定の内部空間内の視認性を低下させう
るものであり、

さらに、前記特定の内部空間は、遊技球が進入できない空間であり、

さらに、前記特定の内部空間の前方には所定のシール体が貼着される

ことを特徴とする。

また、遊技球が流下可能な流下領域が形成された遊技盤を備えた遊技機において、

球通路の少なくとも一部を構成するとともに、前後方向に延びる壁部により形成された
特定の内部空間を有する通路構成ユニットを備え、

前記特定の内部空間内には、電氣的に接続された所定の遊技部品を位置させることが可
能であり、

前記通路構成ユニットは、透過性を有し、

前記壁部への前方からの視線に対して前記特定の内部空間内の視認性を低下させうる目
隠し手段をさらに備え、

前記目隠し手段は、特定部材を前記壁部における外壁面の少なくとも一部に接するよう
に配置させることによって、前記特定の内部空間内の視認性を低下させうるものであり、

さらに、前記特定の内部空間は、遊技球が進入できない空間であり、

さらに、前記特定の内部空間の前方には所定のシール体が貼着される

ことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】